



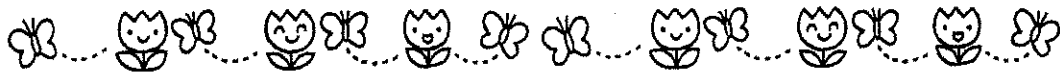
らいおんぐみだより

応其こども園 2024. 3. 22

園庭の桜の木や、秋に子どもたちが植えたチューリップたちが蕾を膨らませ、春はまだかと待ちわびているように感じます。

先日、年長組さんの卒園式が無事行われ、らいおん組の子どもたちが大好きな42人のお兄ちゃん・お姉ちゃんたちが応其こども園から旅立っていきました。一緒にドッチボールや鬼ごっこをしたり、廊下で会えば名前を呼び合い、手を振り合ったりと年長さんとの思い出が沢山ありました。卒園式の数日前は、3・4歳児でお別れ会をし、心を込めて作った卒園プレゼントを渡したり、歌と花道のプレゼントをしました。花道では、一人一人に向けて、「小学校へ行っても頑張るね」「だいすきー」と声を掛ける子どもたち。

そんな年長さんからは、「次はみんなが年長さんやで」「太鼓頑張るねー」と言葉をもらい、「頑張るぞー!」と意気込む子どもたち。そこからは、「そう組がいいなあ」「僕はきりん組がいい!」「年長さん楽しみー」「ちょっとドキドキする」など、進級の話で持ちきりです!ドキドキ・ワクワクの新年度が待ち遠しいですね♪



～一年間頑張ってきたよ～

4月から続けて参加してきた、イングリッシュ・サッカー・体操教室も、年中では最後の日を迎えました。4月当初から比べると、イングリッシュでは、色やアルファベットを英語で言うようになりました。サッカーでは、ボールを手で触ったり、場外に出さずに試合が出来るようになりました。体操教室では、補助なしで鉄棒の前回りが出来るようになったり、マットで前転・後転が出来るようになりました。他にも沢山出来るようになりました。他にも沢山の成長が待っています。他にも沢山の成長が待っています。他にも沢山の成長が待っています。



～子どもたちにインタビュー～

らいおん組で過ごした一年間を振り返って、楽しかったことや思い出に残っていることを子どもたちにインタビューしてみました♪

・友だちとカーペンターで遊んだこと ・遊具で遊んだこと ・みんなでコロコロドッチしたこと ・運動会のバルーン ・発表会で白雪姫の劇したこと などなど、他にもいっぱい教えてくれた子どもたち!私は何よりも嬉しかったことは、話を聞く中で子どもたちが目を見て、「先生大好き♡」「らいおん組大好き♡」と言ってくれたことです。

進級当初は、不安そうな表情を見せたり、恥ずかしくてお話してくれなかった子たちも、行事を乗り越えるたびに自信を付けたり、クラスの絆がグッと深まり、この一年間で本当に色々な表情を見せてくれて子どもたちです。子どもたちと過ごした日々は私の大切な宝物です♡

次は、子どもたちが成長したことを紹介したいと思います♪



- (給食) ・お皿を持って、姿勢よく食べれるようになったね。
・苦手なものも、頑張って食べられるようになったね。
- (友だち) ・困っている子がいたら、助けてあげる優しさを持てるようになったね。
・トラブルになっても、自分たちで話し合いが出来るようになったね。
- (運動) ・縄跳びの練習を沢山して、跳べる様になったね。
・転んでしまっても、泣かずに自分で立ち上がれるようになったね。
- (日常生活) ・立ったまま、靴の脱ぎ履きが出来ようになったね。
・自分の荷物を自分で持って登降園出来るようになったね。
・苦手なことでも、「やってみよう」と挑戦できるようになったね。



上記のことの他にも出来るようになったことが沢山増えた、らいおん組の子どもたち。一年間を通し、何気なく過ぎていく日々の中でも、子どもたち一人一人のかけがえのない成長の瞬間を保護者の方と共に見守り、喜び合えたことをとても嬉しく思います。

4月からは年長組!大きく胸を張って進級してもらいたいと思います☆彡

最後になりましたが、一年間至らぬ点多々あり、ご迷惑をおかけしたと思います。それでも、温かく見守って頂き、ありがとうございました。担任からは離れてしまいましたが、陰からずっと子どもたちのことを応援しています!本当にありがとうございました。

らいおんぐみさんだいすき♡ねんちゃんさんでもがんばってね!